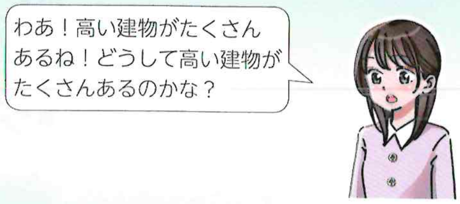
関東地方

地図クイズなど

写真で眺める 関東地方



↑←**1ビルが密集する都心部**(上)(東京都、2020年)**と通勤時間帯の東京駅前の様子**(左)(東京都千代田区、2021年) ➔ p.238、240

↑**3日光東照宮**(栃木県日光市、2018年)

関東平野の開発が進むきっかけをつくった徳川家康がまつられており、世界文化遺産にも登録されています。 ➔ p.245

←**2観光客でにぎわう横浜中華街**(神奈川県横浜市、2021年) ➔ p.241

→4 高原でつくられるキャベツ（群馬県嬬恋村、2016年9月）

→ p.244

↓5 世界各地とつながる成田国際空港（千葉県、2015年）

→ p.239

↑6 日本最大級のショッピングセンター（埼玉県越谷市） 車で訪れる人のために、広い駐車場が用意されています。 → p.243

関東地方の学習を見通そう → p.247の振り返りでは、あなたの考える「写真で眺める関東地方」をつくろう

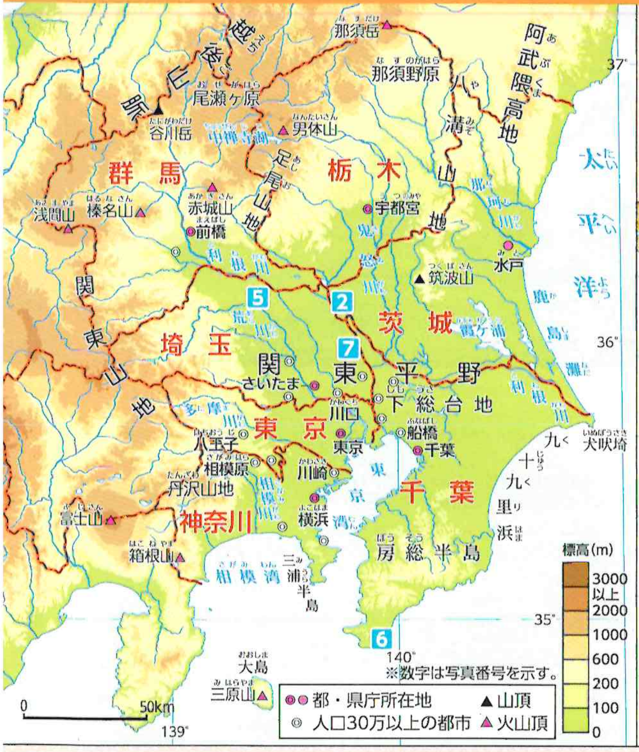
この節では、写真1〜6のような関東地方の様子が、特に「人口や都市・村落」の視点とどのように関係しているのかを中心に考えていこう。

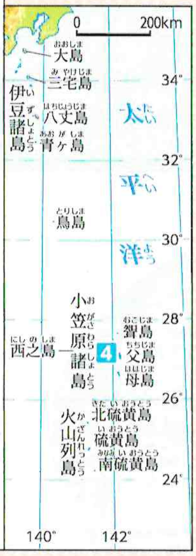
見通しスライド

第5節 関東地方

人口や都市・村落に注目して

5節の問い　関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。





←1 関東地方の自然

↑2 住宅地や田畑が広がる関東平野（茨城県古河市・五霞町、2021年10月）

1 関東地方の自然環境

学習課題　関東地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。

	九州	中国・四国	近畿	中部	関東	東北	北海道
面積 37.8万km²	11.8%	13.4	8.7	17.7	8.6	17.7	22.1
人口 1億2541万人	11.3%	8.6	17.7	16.8	34.7	6.8	4.1

（2023年）〔住民基本台帳 人口・世帯数表、ほか〕

↑3 日本に占める関東地方の割合

↑4 世界自然遺産に登録されている小笠原諸島の父島（東京都小笠原村、2020年7月）

日本で最も広い関東平野

関東地方は1都6県からなり、約4000万(2022年)の人々が暮らす、最も人口の多い地方です。日本最大の**関東平野**を中心に、西は関東山地、北は越後山脈、阿武隈高地などに囲まれています。関東平野には、箱根山や富士山p.140などの火山灰が堆積してできた赤土（**関東ローム**）に覆われた台地p.142と、利根川や荒川、多摩川などの河川沿いにできた低地が広がっています。

関東平野では、17世紀初めに江戸幕府が開かれてから開発が進み、人口が増えていきました。下総台地などの台地は水が得にくく、畑作地として開墾されましたが、今日では住宅地が多くなっています。一方、河川沿いの低地は水が得やすいので水田に利用され、人口の多い都市部では集合住宅や高層ビルもみられます。p.234太平洋沿岸には、九十九里浜や湘南海岸のような砂浜海岸p.143が広がっています。東京湾は海岸の大部分が埋め立てられたため、自然のままの海岸はほとんど残っておらず、埋立地は工業用地などに利用されています。

小学校・歴史・公民・他教科との関連　日本の地形や気候、自然災害（小）　江戸幕府（小・歴）　防災（小・歴・公）

↑**5 最高気温を示す看板**（埼玉県熊谷市、2018 年 7 月）

↑**6 花摘みを楽しめる房総半島の農園**（千葉県南房総市、2023 年 2 月）

未来に向けて　都市型の水害に備える取り組み　防災

近年、集中豪雨や局地的大雨（→ p.147）によって、都市型の水害が起こりやすくなっています。都市部では、地面の多くがアスファルトやコンクリートで覆われているため、雨水が地下にしみこみにくく、雨量が下水道や遊水地などの排水処理能力の限界を超えると、氾濫や浸水が生じやすくなります。

こうした都市型の水害を防ぐ取り組みの一つに、地下に設置される調節池や放水路があります。例えば、埼玉県春日部市の地下には、総延長約 6.3km にわたる首都圏外郭放水路が建設されました。この放水路は、大雨などであふれそうになった中川などの水を一時的に貯留し、江戸川に排水することで、中川・綾瀬川流域の洪水被害を防ぐ役割を担っています。

←↑**7 首都圏外郭放水路**（左）（埼玉県春日部市、2019 年）**とその位置**（上）

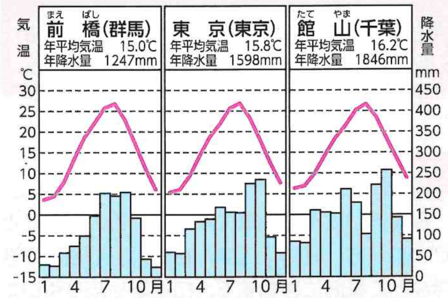
内陸と海沿いで異なる気候

関東地方の大部分は太平洋側の気候p.145ですが、内陸と海沿いでは気候が異なります。8

北関東を中心とする内陸は、夏と冬の気温差が大きく、降水量が少ないのが特徴です。冬は、冷たい北西の**季節風**p.49、145が越後山脈などにぶつかり雪を降らせた後、乾いた風❶となって関東平野に吹き降りてくるため、晴天の日が続きます。夏は、埼玉県熊谷市のように毎年高温になる町もみられ5、山沿いではしばしば雷雨に見舞われます。

一方、南関東を中心とする海沿いの地域は、黒潮p.143が近海を流れるため、冬でも温暖なのが特徴です。房総半島や三浦半島は、冬に観光農園で花摘みが楽しめることでも知られています6。東京都に属する伊豆諸島などの島々は一年中温暖で、特に緯度が低い小笠原諸島4は、南西諸島p.170、178と同じような気候です。

高層ビルが立ち並ぶ東京の中心部では、気温が周辺部よりも高くなる**ヒートアイランド現象**がみられます。また近年は、短時間のうちに大雨をもたらす局地的大雨（ゲリラ豪雨）p.147が、気温が高くなる夏に、関東地方の至る所で発生しています。



〔理科年表 2024、ほか〕

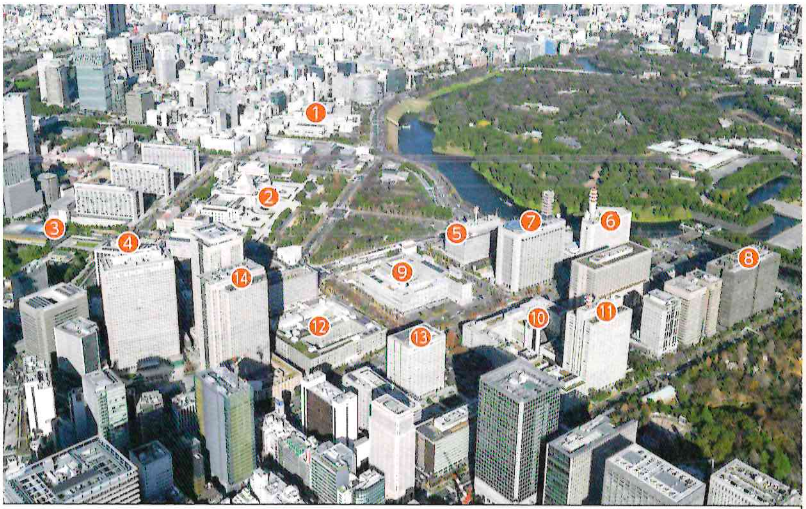
↑**8 関東地方の主な都市の雨温図**

❶「からっ風」や「赤城おろし」、「男体おろし」、「筑波おろし」など、地域によって、さまざまな名称でよばれています。

地図帳活用
ヒートアイランド現象の様子を確認しよう。

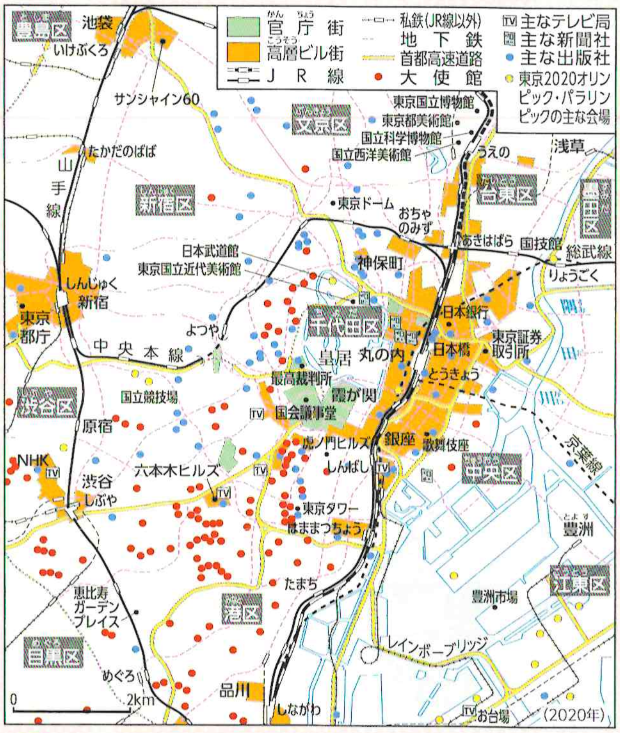
確認しよう　関東地方における内陸と海沿いの気候の違いを、図8で確認しよう。

説明しよう　関東地方の地形の特徴を「台地」「低地」の語句を使って説明しよう。



①最高裁判所 ②国会議事堂 ③首相官邸 ④内閣府 ⑤国土交通省 ⑥警視庁
⑦総務省 ⑧法務省 ⑨外務省 ⑩農林水産省 ⑪厚生労働省・環境省
⑫財務省 ⑬経済産業省 ⑭文部科学省

↑1 霞が関にある官庁街とその周辺
(東京都千代田区、2019年)
小 歴 公



↑2 東京の中心部に集中するさまざまな機関

2 多くの人が集まる首都、東京

5節の問い 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

学習課題 日本の首都であり、多くの人が集まる東京には、どのような特徴があるのだろうか。

日本の首都東京

日本の**首都**である東京は、世界でも有数の大都市で、江戸時代から今日まで、日本の中心として発展してきました。東京の中心部は、23の特別区からなります。かつて江戸城があった場所は皇居となり、その周辺には日本の政治の中心として、国会議事堂や最高裁判所のほか、多くの中央官庁が集まっています。また、日本銀行をはじめ、大きな銀行の本店や東京証券取引所、大企業の本社などが集中し、日本の経済の中心にもなっています。さらに、大学や専門学校などの教育機関や国立の博物館・美術館などの文化施設も多く立地しています。

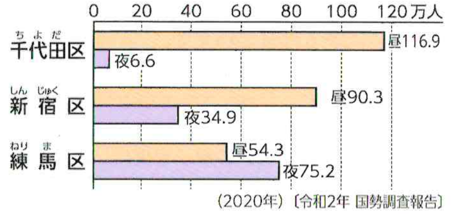
東京の中心部で働く人の多くは、都内の住宅地や神奈川・埼玉・千葉などの隣県から通勤しているため、オフィス街が広がる千代田区などでは、**夜間人口**よりも**昼間人口**がはるかに多くなります。一方で、会社以外の場所で働くこと(テレワーク)が可能になる企業が増え、オフィスを東京の中心部から分散する動きもあります。

交通網の中心となる東京

東京への通勤・通学には、**都心**から放射状に発達した鉄道網が重要な役割を果たしています。複

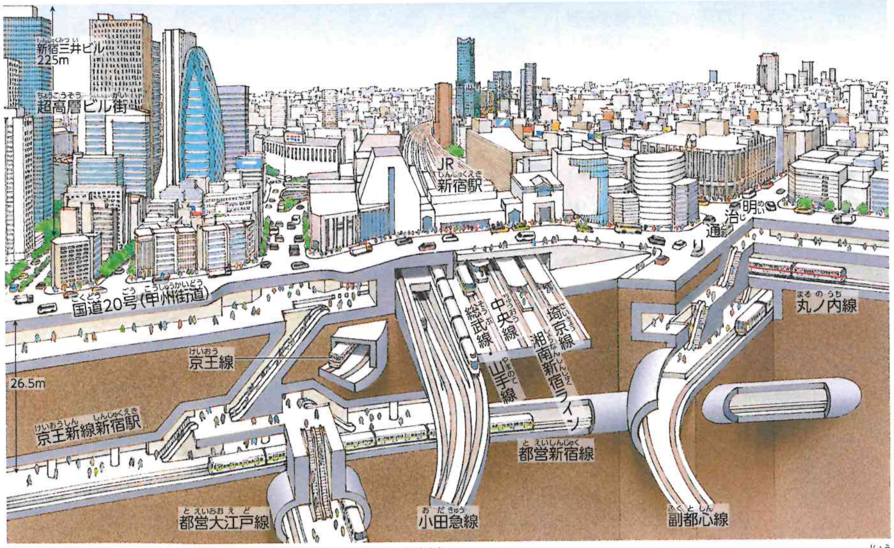
解説① **夜間人口と昼間人口**

夜間人口はその地域に住んでいる人口のことです。一方、昼間人口は、夜間人口に通勤や通学などで昼間に移動する人口を足したり引いたりした人口のことです。都心部では昼間人口が多くなり、郊外の住宅地では夜間人口が多くなります。



↑3 東京都の主な区における昼間人口と夜間人口

地図帳活用
東京周辺の昼夜間人口の比率を確認しよう。



↑**4 ターミナル駅となっている新宿駅**　複数の鉄道路線が乗り入れる新宿駅は、世界一乗降客数が多い駅といわれています。1日の乗降客数は約250万人もいます(2021年度)。

↑**5 通勤・通学時間帯に混雑する新宿駅**(東京都新宿区、2017年)

数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅①は、都心と郊外とを結ぶ交通の拠点となっています。特に、新宿・渋谷・池袋などは**副都心**と よばれ、都心部とともに昼間人口が多い地域です。4 5 解説② ターミナル駅周辺には高層ビルが立ち並び、企業のオフィスが多くみられる一方、百貨店などの大型商業施設なども集まっています。近年は、駅周辺の再開発によって、新たな まちづくり が進められています。

p.241

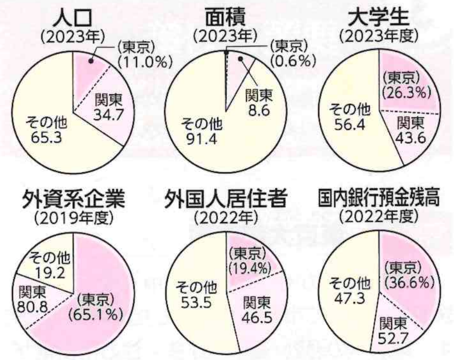
東京は、全国を結ぶ交通網の中心であり、新幹線や高速道路が、東京を起点として国内各地とつながっています。航空路線においても、東京国際(羽田)空港が国内線の中心として日本最大の旅客数を誇っています。近年は、国際線の充実も図られており、成田国際空港とともに、多くの外国人旅行者などに利用されています。

p.163　p.162、176、235　p.163

世界都市 Tokyo

東京は、日本国内だけではなく、世界の国々や さまざまな都市との結びつきも強く、ニューヨークやロンドンと並んで、世界都市とよばれています。その中心になっているのは金融や貿易、情報通信などの国際的な活動で、各国の大使館や国際機関、外資系企業などが集中しています。2 6 世界中から多くの人が集まるとともに、政治や経済のニュース、ファッション・音楽・グルメなど膨大な情報が集まってきます。それらの情報を扱うテレビ局や新聞社、出版社などメディア関係も東京に集中しています。2 また、東京ディズニーリゾートなどのテーマパークや大きなイベントが開催される展示場も、国内外から多くの人が訪れています。

① 鉄道の終着駅など、多くの交通機関や路線が集まる駅のことです。



〔住民基本台帳 人口・世帯数表、ほか〕

↑**6 東京への集中**　資料活用　東京が占める割合に注目しよう。

解説② 都心と副都心

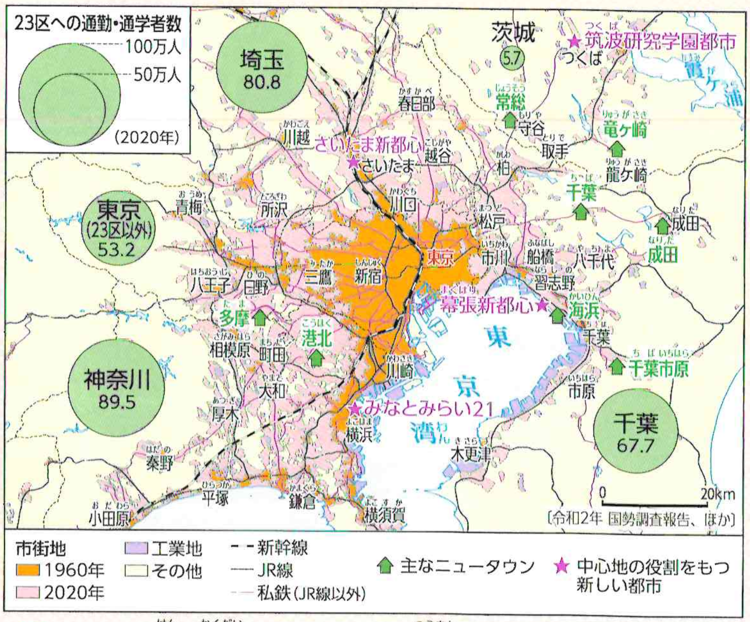
都心は、政治や経済の重要な施設が集中する中心地区のことです。副都心は、都心にある機能を分散するために開発された都心周辺の地域のことです。東京の都心は千代田区・中央区・港区など、副都心は、ターミナル駅を中心に高層ビル街がみられる新宿・渋谷・池袋などです。

確認しよう　東京にはどのような機関が集中しているのか、図2や本文で確認しよう。

説明しよう　日本の首都である東京の特徴を、図6を使って説明しよう。

↑1 開発が進む東京の湾岸地域(東京都中央区・江東区・港区、2019年)

見渡す限り建物でいっぱいだね！市街地はどのように広がったのかな？



↑2 東京大都市圏の拡大と東京23区への通勤・通学者数

3 東京大都市圏の課題と対策

5節の問い 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

学習課題 東京への人口集中によって、東京大都市圏ではどのような課題や変化がみられるのだろうか。

東京大都市圏の拡大

東京とその周辺には、高度経済成長期以降(p.152)、日本の各地方から多くの人が移り住みました。東京への人口集中が進み、住宅地が不足して地価が高くなると、住宅地は鉄道路線に沿って開発され、より地価の安い東京の周辺部へと広がっていきました。こうして神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県など、東京の周辺の県にかけて広がった**東京大都市圏**(解説①)は、日本の人口の3割(2020年)が集中する日本最大の都市圏(p.152)として、人口が**過密**(p.152)な地域になっています。

東京大都市圏の過密とその対策

東京大都市圏では、通勤時間帯の混雑や ごみの増加など、過密による さまざまな都市問題が発生してきました。これに対し、鉄道網のさらなる整備や地下鉄などの活用、時差通勤の推奨や圏央道などの環状道路の整備によって、混雑や渋滞の緩和が図られています。また、都市の機能を分散させるために、1970年代には筑波研究学園都市の建設(3)が進められ、東京から大学や研究機関が計画的に移転しました。2005年に東京と つくば市を結ぶ鉄道の開通によって、その沿線では人口が増加しています。筑波研究学園都市以外にも「幕張新都心」や「さいたま新都心」などが整備され、企業のオフィスや商業施設な

解説① 東京大都市圏

東京の都心から50～70kmの範囲内で、鉄道網に沿って市街地が発達した地域のことです。東京への通勤・通学者が多く住む市街地が、都県境を越えて広がっています。

地図帳活用

①東京大都市圏の地価分布を確認しよう。
②幕張新都心や さいたま新都心の様子を確認しよう。

↑3 筑波研究学園都市(茨城県つくば市、2022年)

↑4「みなとみらい 21」地区（神奈川県横浜市、2020 年）　横浜ランドマークタワーがある場所には、かつて造船所がありました。

↑5 港北ニュータウン（神奈川県横浜市、2022 年）　緑や公園が多く、商業施設も充実しているため、若い世代に人気の住宅地になっています。保育所に入れない待機児童を減らす横浜市の取り組みも、暮らしやすさを支えています。

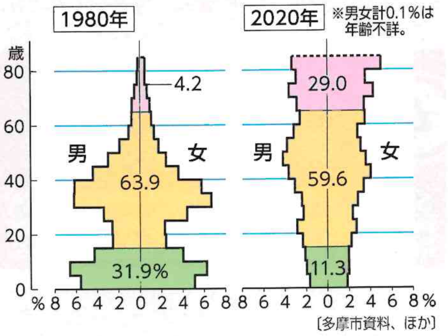
どが集まり、多くの人に利用されています。

住宅の不足に対しては、東京の郊外に多摩ニュータウンなどの大規模な新興住宅地がつくられ、東京の中心部などへ通勤・通学する人の居住地となってきました。近年はこれらの**ニュータウン**p.204で、居住者の高齢化や少子化、建物の老朽化などが問題となっています。6 p.153 郊外の一部では人口減少となり、住環境を含めた地域の再生が課題となっています。一方、都心部や湾岸地域では工場跡地や古くなった業務地区p.248で**再開発**解説②が進められ、超高層マンション（タワーマンション）が建設されたことなどから人口増加がみられます。❷ 1

全国第 2 位の大都市、横浜

東京大都市圏には、横浜市・川崎市・さいたま市・千葉市・相模原市の五つの**政令指定都市**p.152があります。なかでも横浜市は 370 万を超える人々が暮らす、全国第 2 位の大都市です。(2022年) 横浜は江戸時代末期に開港して港町が形成されて以来、横浜中華街など国際色豊かな都市として発展してきました。洋館や れんがづくり の建物などの歴史的な景観が残されている一方で、再開発によってつくられた「みなとみらい 21」地区には商業施設や国際会議場などが集まっています。4 横浜はもともと臨海部から開発されましたが、東京の人口が増えるにつれ、内陸の丘陵地でも住宅地の開発が盛んになりました。1970 年代に開発が始まった港北ニュータウンのように、横浜の中心部や東京への交通の利便性が高く、生活環境が整った住宅地では、人口が増加しました。5

❶ 通勤ラッシュの時間帯を避けて通勤することです。



↑6 東京都多摩市の人口ピラミッドの変化

解説② 再開発

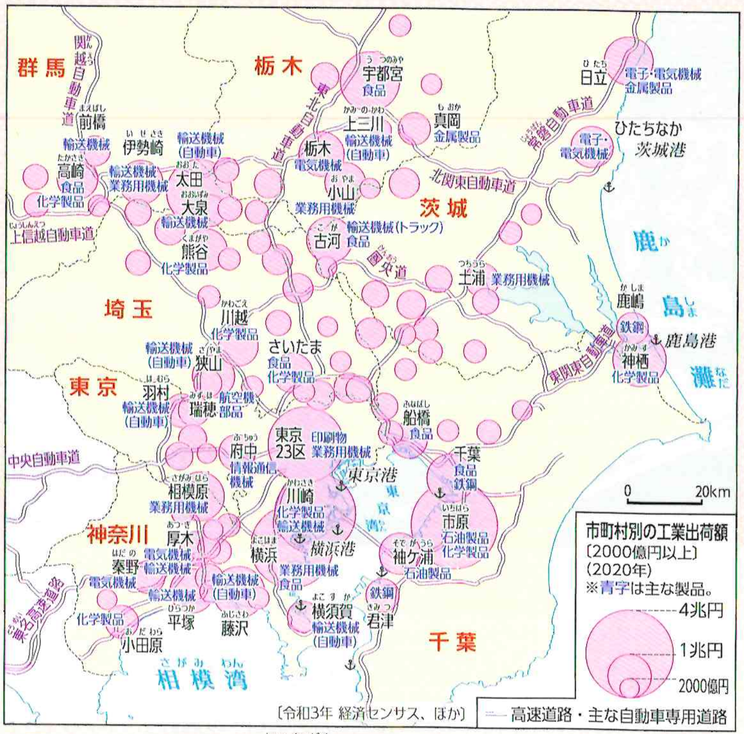
ある地域の古くなった建物や工場などを取り壊して、新しい目的に応じた まち につくり直すことです。再開発のきっかけは、産業の変化、地域の活性化、自然保護などさまざまです。

❷ 人口が都心から郊外へ移っていくことをドーナツ化現象というのに対して、人口が再び都心に戻ってくることを都心回帰といいます。

確認しよう 東京大都市圏の広がりと、五つの政令指定都市の位置を図2や地図帳で確認しよう。

説明しよう 過密によって生じた都市問題とその対策について説明しよう。

↑1 印刷工場での製本作業の様子（東京都板橋区、2017年）



↑2 関東地方の主な工業と出荷額

4 工業地域の変化と第3次産業の発達

5節の問い 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

学習課題 関東地方における工業や第3次産業の発達は、人口の集中とどのように関係しているのだろうか。

臨海部から発達した関東地方の工業

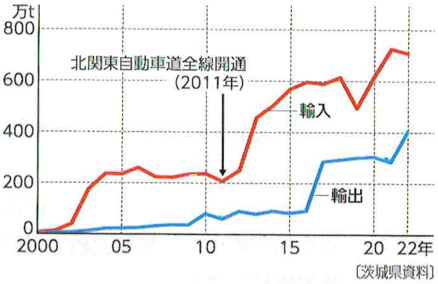
京浜工業地帯は、東京都・神奈川県・埼玉県にまたがる日本有数の工業地帯です。2 p.159 船舶を利用した工業原料の輸入や製品の輸出に適した東京湾岸の埋立地には、大規模な製鉄所や火力発電所、物流倉庫などが立地しています。p.159 また、東京には出版社などが多いので、印刷業が盛んです。1 3 町工場などもみられますが、工業に関わる大企業の本社や研究開発拠点などが多く立地しています。p.207 千葉県の臨海部に広がる**京葉工業地域**p.159には、大規模な石油化学コンビナートが立ち並んでいます。p.190

北関東への工場進出

栃木県・群馬県・茨城県からなる北関東は、もともと繊維工業や航空機の生産が盛んな地域でした。その技術や広い土地を活用するために、県や市町村が工業団地をつくり、工場を積極的に誘致しました。その結果、機械工業の大工場を中心に中小工場も次々と進出し、内陸型の**北関東工業地域**が形成されました。

北関東工業地域では、電気機械工業や自動車産業などが発達しています。p.159 港までの輸送に便利な高速道路の近くには多くの工場が集

↑3 印刷業の出荷額



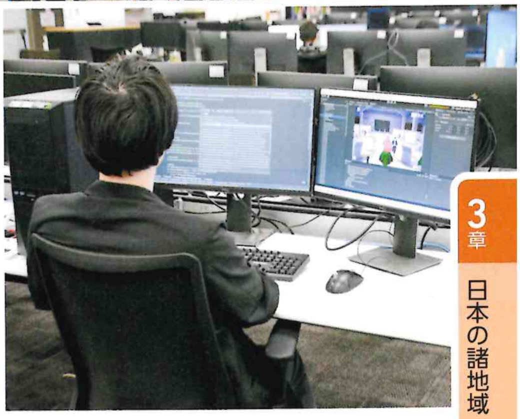
↑4 茨城港（常陸那珂港区）の取扱貨物量の変化 資料活用 高速道路開通後の変化に注目しよう。

未来に向けて　多文化の共生を目指す大泉町　人権・多文化

　自動車関連工場が多い群馬県大泉町には、工場で働く日系ブラジル人とその家族が多く住んでいます。町にはポルトガル語の表示やブラジルの食材を売る店がみられ、学校には日系ブラジル人の生徒がたくさん通っています。このため大泉町は、小中学校に日本語学級を設けてボランティアによる日本語・ポルトガル語講座を開いたり、ポルトガル語の生活ガイドブックをつくったりして、異なる文化をもつ人々が暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。

→**5ブラジルの食材が売られているスーパーマーケット**（群馬県大泉町、2018年）

↑**6国内外から多くの人が集まる「東京ゲームショウ」**（千葉県千葉市、2022年）



→**7ゲームの制作会社の様子**（東京都港区、2022年）

まっており、群馬県や栃木県などで生産された工業製品は国内だけでなく、港から海外にも輸出されています。以前は東京港や横浜港から輸出していましたが、現在では北関東自動車道を利用して、茨城港からも輸出するようになっています。4

第3次産業の発達

　国内外から多くの人が集まる東京では、第3次産業が発達しています。東京大都市圏p.240には、大小さまざまな商業施設p.158が立地しており、高級ブランド店が集まる銀座や電気街の秋葉原p.235などの個性的な商業地もあります。そのため、商業に携わる人が非常に多く、東京都は卸売業や小売業の販売額p.160において高い割合を占めています。また、物流倉庫や配送センターなど、流通に関連した施設p.161も多く立地しています。8

　インターネットに関連した**情報通信技術（ICT）産業**や、ゲーム・映画・アニメーション・漫画など情報を発信する産業も東京に集中しています。6 7 これらの産業は、専門の技術や独創性をもった人材を必要とするため、情報と人が集まる大都市 東京で発達しました。

　また、東京は観光地としても多くの人でにぎわっています。観光産業p.160の発達によって、余暇を楽しむ人向けのサービスや外国人旅行者に観光情報を提供する案内所の整備なども進んでいます。p.163

↑**8仕分けされた宅配便の荷物を積み込む様子**（東京都大田区）　この施設は、荷物の輸送に便利な東京国際（羽田）空港の近くにあります。荷物は、機械によって配送先ごとに仕分けされ、全国各地に運ばれます。

地図帳活用
商業施設と物流拠点の分布を確認しよう。

確認しよう　臨海部の工業地域と北関東の工業地域での工業製品の違いを、図2や本文で確認しよう。

説明しよう　人口の集中が進むことによって、東京でどのような産業が発達しているのか、説明しよう。

→**1 はくさいの収穫**（茨城県八千代町、2022年12月）

収穫された はくさいは、畑で出荷用の段ボールに箱詰めされ、トラックで運ばれます。

←**2 大田市場に集められた茨城県産の はくさい**（東京都大田区、2023年1月）

5 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題

5節の問い 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

学習課題 東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は、人口の多い東京大都市圏と、どのように結びついているのだろうか。

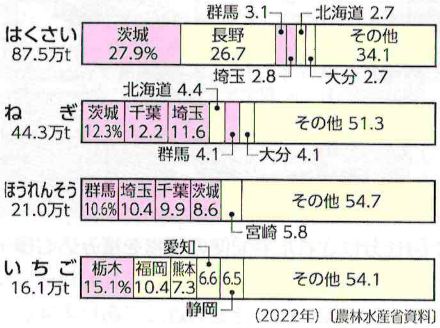
食料の大消費地を支える農業

関東平野の台地p.142では、早くから畑作地が広がり、都市の住民向けに新鮮な野菜などを生産する**近郊農業**p.158が発展してきました。近郊農業は、練馬区や江戸川区など東京23区内p.23でも盛んでしたが、都市化p.136に伴い住宅地が拡大p.240すると、市街地よりも外側の地域へと移っていきました。

東京や横浜などの大消費地がある関東地方では、その利点を生かして、野菜の栽培が盛んに行われています。[1] 茨城県や千葉県などは多くの野菜の生産量で全国の上位を占めています。[3] 野菜のほか、新鮮さが求められる果物、牛乳、鶏卵、食肉などの生産も盛んです。例えば、栃木県の いちご の生産量は全国有数で、「とちおとめ」や「とちあいか」などのブランド品種がつくられています。[4]

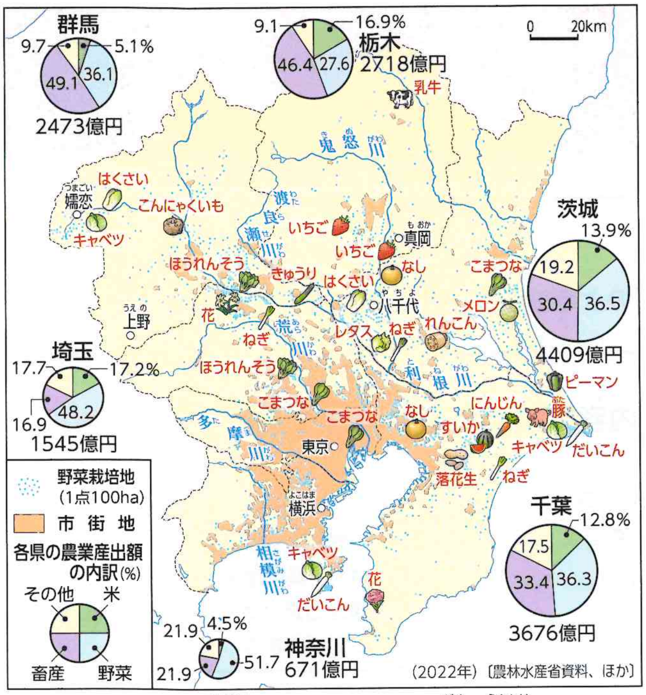
関東地方では、道路網の整備や長距離輸送が可能な保冷トラックの普及などにより、消費地から離れた地域でも農産物が盛んに生産されるようになりました。群馬県嬬恋村では、夏でも涼しい高原の気候を生かしたキャベツの生産が盛んです。p.235 また、冬でも温暖な房総半島や三浦半島の南部では、一年中 花が栽培されています。p.237

東京には全国各地から農産物が集まる大きな卸売市場[2]があり、スーパーマーケットや飲食店なども多くあります。消費者に選ばれ



↑**3 関東地方で生産が盛んな農作物**

↑**4 いちごの収穫**（栃木県真岡市、2023年1月）

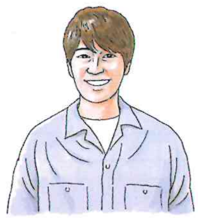


↑**5** 野菜などの主な栽培地と各県の農業産出額の内訳

資料活用 農業産出額が多い県に注目しよう。

声 上野村に移住した人の話

私は東京出身ですが、農業と田舎生活にあこがれがあったので、大学卒業後に上野村にIターン移住し、今は村営の「きのこセンター」で働いています。上野村には、コンビニエンスストアはありませんが、すばらしい自然があります。そして、45歳以下の移住者には、月3万～5万円の生活補助金が村から支給される生活支援もあります。また、小中学校の給食費や18歳以下の子どもの医療費は無料なので、子育てをする世代の人たちにとっても住みやすそうです。私も将来結婚して、上野村で子育てをしたいと考えています。



→**6** 移住者の働く場となっている村営の「きのこセンター」(群馬県上野村、2016年)

るために、農産物の質の向上やブランド化が図られています。

山間部の過疎問題と地域の再生

関東地方には、山間部を中心に豊かな自然がみられます。箱根(p.140)や尾瀬、日光(p.234)、奥多摩などには、観光や登山、キャンプなどを楽しむために多くの人が訪れます。**7** しかし、多くの山間部では、農業や林業が衰退(p.158)して人口が流出するとともに、若い世代が各県の中心都市や東京大都市圏(p.240)などに移り住むようになったので、高齢化と**過疎**(p.152、198)が問題となっています。

例えば、群馬県南西部の上野村では、長年、若い世代の人口流出が続いたことにより、人口の減少と少子高齢化(p.153)が進んでいました。このため上野村では、地域の自然を生かした特産品の開発や働く場所の確保、村営住宅の整備など、若い世代が暮らしやすい村づくりに取り組んできました。その結果、都市部から上野村に戻って生活する**Uターン**(解説)や、ほかの地域の出身者が上野村に移り住む**Iターン**(解説)による移住者が増え、現在ではこれらの移住者が村の人口の2割(2018年)を占めるまでになっています。**6**

関東地方の山間部では、上野村のように、東京大都市圏に近い利点を生かし、都市部の人々との交流や若い世代の移住を通して、地域の活性化や過疎による問題の解決を図る例が増えています。

↑**7** 尾瀬ヶ原の湿原の木道を歩く人々(群馬県片品村、6月)

解説 UターンとIターン

Uターンは、大都市圏以外の出身者が進学、就職をきっかけに大都市圏に移住した後、出身地またはその近くに戻ることです。Iターンは、大都市圏出身者が大都市圏以外の地域に移り住むことです。

確認しよう 関東地方の各県では、稲作・野菜栽培・畜産のなかでどれが盛んなのか、図**5**や地図帳で確認しよう。

説明しよう 大都市周辺の地域や山間部では、どのような問題と解決の取り組みがみられるのか、説明しよう。

節の問いをまとめよう ➡ p.246

学習を振り返ろう

5節(p.233～245) 関東地方

ワークシートなど

5節の問い 見方・考え方 地域の特徴(→巻頭8)

関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

節の振り返り1 学んだことを確かめ、節の学習内容を振り返ろう 知識 地図帳活用

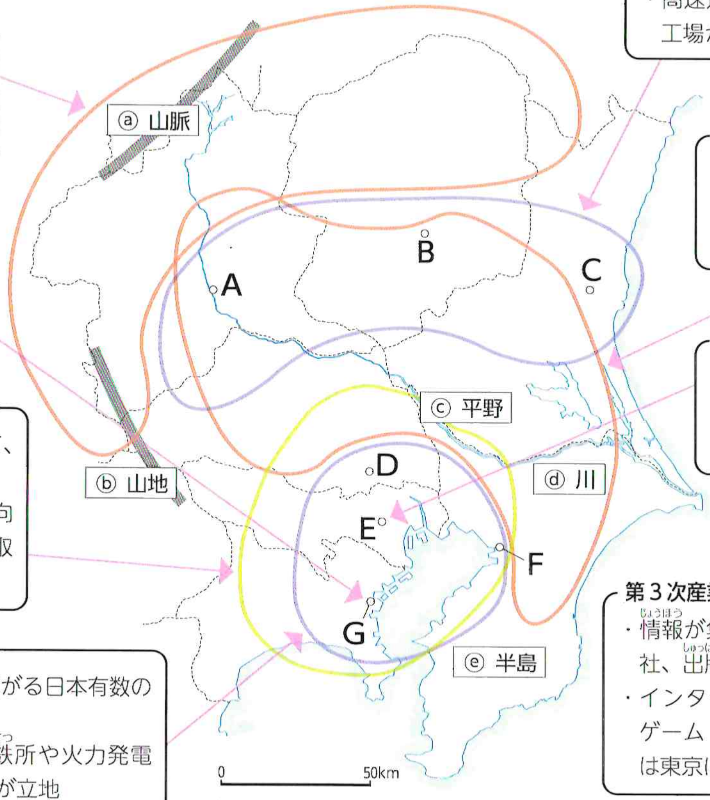
1．A～Gにあてはまる都・県庁所在地名と、その都・県名を答えよう。
2．ⓐ～ⓔにあてはまる山脈・山地名、平野名、河川名、半島名を答えよう。
3．①～⑥にあてはまる語句を、「節の重要語句」から選んで答えよう。

山間部(→p.245)
・高齢化や ① が問題となっている地域での、Iターンや Uターンを支援する取り組み

G (→p.241)
・全国第2位の人口をもつ、国際色豊かな都市
・内陸の丘陵地では住宅地が開発されている

東京大都市圏(→p.240～241)
・東京の中心部から鉄道に沿って、住宅地が周囲の県にも広がる
・ ② による都市問題の解決に向けた、都市の機能を分散する取り組み

③ と京葉工業地域(→p.242)
・東京・神奈川・埼玉と千葉に広がる日本有数の工業が盛んな地域
・東京湾沿岸の埋立地には、製鉄所や火力発電所、石油化学コンビナートなどが立地



④(→p.242～243)
・工業技術や広い土地があり、県や市町村が工業団地をつくって工場を誘致
・高速道路の近くには電気機械などの工場が集まる

農業が盛んな地域(→p.244～245)
・大都市の周辺では、野菜や果物、牛乳、鶏卵、食肉などを生産する ⑤ が盛ん

首都、 E (→p.238～239)
・国会議事堂、中央官庁、銀行の本店などが集まる、日本の政治と経済の中心

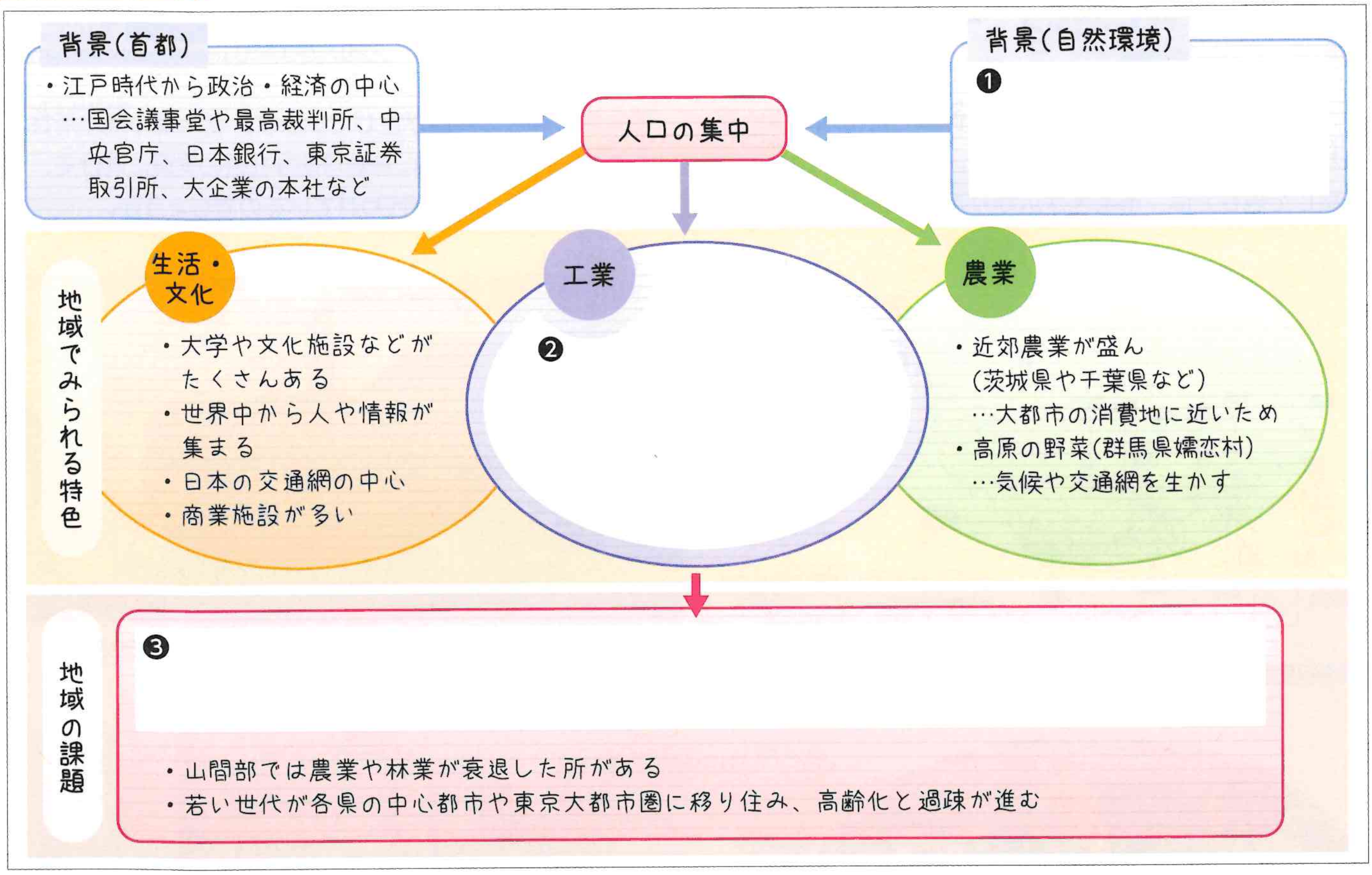
第3次産業が発達した地域(→p.239、243)
・情報が集まる東京にはテレビ局や新聞社、出版社が多い
・インターネットに関連した ⑥ や、ゲーム・映画など情報を発信する産業は東京に集中

↑1白地図を使ったまとめ

節の重要語句 簡単な説明ができた語句にチェックを入れよう。

□関東平野
□関東ローム
□季節風
□ヒートアイランド現象
□首都
□夜間人口
□昼間人口
□都心
□副都心
□東京大都市圏
□過密
□過疎
□ニュータウン
□再開発
□政令指定都市
□京浜工業地帯
□京葉工業地域
□北関東工業地域
□情報通信技術(ICT)産業
□近郊農業
□Uターン
□Iターン

節の振り返り２　節の問いについて、あなたの考えをまとめよう　思考・判断・表現



↑２人口の集中に注目して関東地方をまとめた例

①節の問いについて、図でまとめよう

◆この節の学習を振り返りながら、図２の❶～❸を埋めて、人口の集中に注目した関東地方のまとめを完成させよう。

②節の問いについて、考えを深めよう　対話

◆図２をもとに、関東地方の人口の集中が人々の生活や産業に影響を与えていることが分かる写真と、その写真を補足するための資料（写真やグラフ、地図）を一つずつ、教科書や地図帳、ウェブサイトなどから選ぼう。

◆グループになって、選んだ写真や資料とその理由を発表し合おう。そして、あなたたちだけの「写真で眺める関東地方（→ p.234～235）」をつくり、地域の特色を示すタイトルをつけよう。

③節の問いを踏まえて地域の特色をまとめよう

◆図２と②をもとに、関東地方の特色を文章で簡単にまとめよう。

5節の問い

関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。

ヒント1　東京大都市圏に人口が集中するようになった背景は？

ヒント2　関東地方における人々の生活や産業の特色は？

振り返り　主体的な学び

●節の問いの解決に向けて主体的に取り組むことが
□よくできた　□できた　□あまりできなかった
→よくできた点や改善したい点などを書き出そう。

●節の学習を終えて、新たな疑問や探究したいこと、深めたいことなどを書き出そう。

公共交通を活用したまちづくり

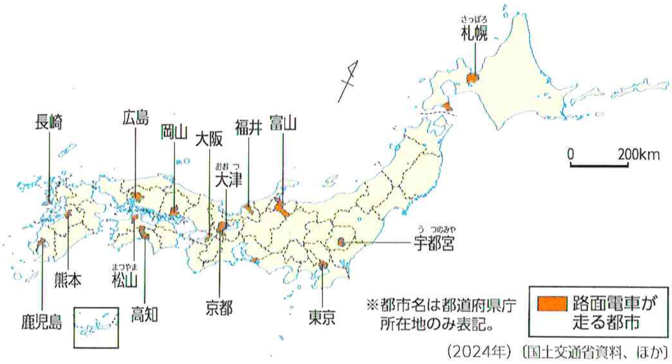
～コンパクトシティを目指す栃木県宇都宮市～

未来に向けて

情報・技術

3 すべての人に健康と福祉を　11 住み続けられるまちづくりを

これまでの日本は、人口増加に伴って市街地が中心部から郊外へと広がっていきました。しかし、人口減少に転じた現在では、市街地が広がり過ぎたことで移動が不便になるなどの問題が生じています。栃木県の県庁所在地である宇都宮市では、持続可能な社会の実現に向けて、どのような取り組みが行われているのでしょうか。



↑1 路面電車が走る都市

↑2 デマンドタクシーを利用する人(栃木県宇都宮市、2023 年)
専用の乗り場のほか、自宅から乗ることもできます。

↑→3 次世代型路面電車システム(LRT)の車両(上)と道路の中央部に線路が敷かれた宇都宮駅東口付近の様子(右)(栃木県宇都宮市、2022 年)

栃木県宇都宮市は人口 50 万を超える都市です(2022 年)。人口が増えるにしたがって郊外にも住宅地が広がり、市民の多くは自家用車で市内を移動するようになりました。しかし、近年は少子高齢化(→ p.153)が進み、人口が減少し始めました。

そこで宇都宮市は、魅力的な町であり続けるために、公共交通のネットワークを活用したコンパクトシティの取り組みを進めています。コンパクトシティとは、住宅と商業施設や公共施設などが、まとまっていたり、公共交通で移動しやすかったりする効率的な都市のことです。

宇都宮市では、2023 年に中心市街地と郊外にある住宅地や工業団地などを結ぶ次世代型路面電車システム (LRT) が開業しました(写真3)。LRT は、バスよりも乗車できる人数が多く、運行時刻が正確なため、地域間の移動が便利になり、人の往来が活発になると期待されています。また、この LRT は再生可能エネルギーによる電力で走り、自動車のように二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しないため、脱炭素社会(→ p.157)の実現も期待されています。

LRT やバスなどの公共交通が不便な地域では、移動手段確保のためにデマンドタクシーが導入されています(写真2)。利用者の希望時間と乗降場所の要望に応じることができるタクシーと、低料金で複数の人が乗り合わせるバスの両方の利点を兼ね合わせたデマンドタクシーは、自動車を運転できない高齢者などに多く利用されています。